

# グリーン調達に対応した 環境保全物質管理システム

近藤俊介\* 對馬一宏†  
宮崎恒行\*\*  
加藤六彦\*\*\*

## 要 旨

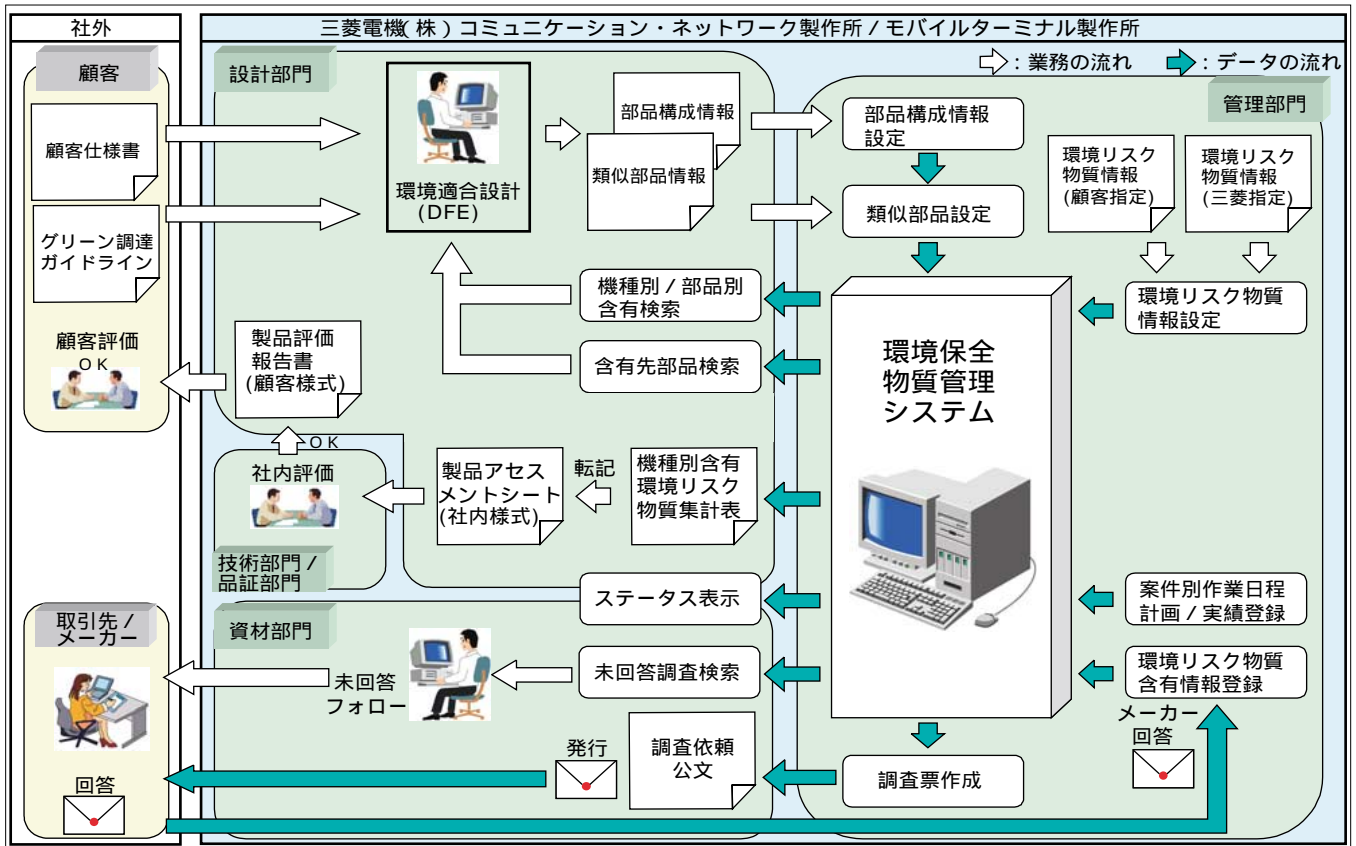
持続可能な循環型社会形成の実現に寄与するため製品が果たす環境負荷低減の役割が極めて大きくなっており、三菱電機では、資源( Material )の有効利用，エネルギー( Energy )の効率利用，環境リスク物質( Toxicity )による排出回避の観点から，環境負荷低減活動，環境配慮型製品( エコプロダクツ )の創出活動を展開している。

この「MET」というキーワードの一つ，環境リスク物質による排出回避については，取引先とのパートナーシップによる環境負荷の小さい部品・材料・ユニットなどの調達( グリーン調達 )のための環境リスク物質含有情報が必要不可欠であり，また，年々厳しくなっている顧客からのグリーン調達( 環境保全要求仕様 )による顧客への納入製品

に関する環境リスク物質の開示要請にも迅速かつ的確に対応する必要がある。

これら要求に対応するため，通信インフラ事業を担当しているコミュニケーション・ネットワーク製作所，移動通信端末( 携帯電話 )事業を担当しているモバイルターミナル製作所では，2001年3月から「環境保全物質管理システム( 第1次版 )」を運用開始し，2002年4月からは環境適合設計の推進を加速するため照会・検索機能を充実した「同システム( 第2次版 )」を運用中である。

本稿では，この環境保全物質管理システムを紹介するとともにグリーン調達の今後の課題について述べる。



## 環境保全物質管理システムの業務関連図

コミュニケーション・ネットワーク製作所，モバイルターミナル製作所における環境保全物質管理システムを核としたグリーン調達対応の設計部門・管理部門・資材部門・品証部門の業務関連を概念図として示す。